



## 春休み特別講座

### 「地球46億年の歴史」・日立一高附属中

3月29日(水)、日立一高附属中の19名の生徒を対象にした春休み特別講座を、日立市視聴覚センター映像セミナー室で行いました。日立理科クラブ制作の「地球46億年の歴史」のDVDを中心に、いろんな話を折り混ぜながら、大画面で迫力ある映像で進めました。19名の附属中の生徒たちは、科学クラブに所属し、幅広い分野で活動を進めている科学大好きな生徒たちです。日立理科クラブの担当講師の話に真剣に耳を傾け、約一時間半興味を持って視聴していました。

「日本最古の地層が日立市にあります。5億年前のカンブリア紀は大型生物大爆発の時代です。この頃の日本はまだ大きな大陸の一部で、現在の中国東北部の一部でした。その後、大陸の分裂により、2千万年前にアジア大陸の東の縁が割れて、日本列島が形作られました。多賀山地のカンブリア紀の地層は日本列島のルーツです。」という、ナレーションと映像に、少し驚いたような表情で関心を示していました。

そして、「地球の46億年の壮大な歴史の中で、今、私たちがいるのです。地球の46億年の歴史はフィクションではありません。壮大な現実のドラマです。その中で、生命はもう40億年前に誕生し、誕生した微生物の生命は、はるか長き道りを幾度の地球の危機的な大変動にさらされながら、かけがえのない命をつないできました。その進化の頂点が、今の私たちです。進化した私たちが今、存在するのは偶然と必然の結果です。歴史は続きます。世界の人類は60億人にもなっています。地球歴史の40億年の命のリレーを無駄にしないよう、今から未来を描き、選び取るのも私たちなのです。また、40億年の気の遠くなる時間に比べ、私たちの高度な生活の時間は本当にわずかで一瞬です。急激な科学文化の進化は地球の環境、また、私たち人類の生活にも、大きなひずみを与えています。地球環境に配慮した持続的な技術の進歩を進めるのも私たちの責任です。未来に続く、出発点がここにあります。」という、まとめのナレーションにどんな思いを一人一人が感じたでしょうか。このDVDの映像、ナレーション、音楽など、視聴覚センターの編集機を使って作成したという説明にもびっくりしていました。

**大陸大移動**

**2億年前** 2億年前、恐竜時代一つの大陸。日本で恐竜の化石が見られるのも同じ大陸の中にあった。

**1,8億年前** 地球は熱を放出しています。地球の中のマンテルには動きがあり、この動きで大陸は絶えず移動し、集合、分散を繰り返しています。

**現在** 現在から、2億年後はまた、大陸が一つになると予想されます。日本は朝鮮半島と一緒に、赤道付近に移動します



講座の中から得た知識や疑問が、どんな風にこれから広がっていくか、附属中の生徒たちの今後の活躍に期待したいですね。

文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一  
日立理科クラブ事務所 TEL/FAX 0294-24-3104